

次に、循環型社会の実現についてお伺いします。

まず、新居浜市ごみ処理基本計画についてお聞きします。

ごみ処理行政は、市民生活を支える最も基礎的な行政サービスであると同時に、本市財政に長期的かつ重大な影響を及ぼす重要な分野であります。

人口減少、少子高齢化が進展する中で、ごみ排出量の変動、焼却施設の老朽化と将来的な更新費用の増大、さらには脱炭素社会への対応など、本市のごみ処理行政は多くの構造的課題に直面しております。本市のごみ処理基本計画では、ごみの発生抑制——リデュース、再利用——リユースに努め、ごみの減量を図り、再資源化——リサイクルを推進するため、資源ごみ集団回収の推進や適正な分別種別の検討、食品ロス削減の啓発の強化等に取り組むほか、超高齢化社会を踏まえ、収集方式の見直しやごみの有料化について検討するとされています。

また、適正で安定的なごみ処理体制の確立のため、適正処理啓発の強化、市民と連携した不法投棄対策、環境美化活動、処理施設の安定稼働、災害時に大量に発生する廃棄物に備えた体制整備等に取り組むとともに、将来に向けたごみ処理施設の共同化、広域化、集約化、民間活用、高効率なエネルギー利用等の視点を加えた施設の再編等の検討に取り組むとされています。

そこで、以下、順次お伺いします。

まず、当初計画策定時と比較して、人口動態や社会経済情勢、環境政策の動向など、本市を取り巻く環境はどのように変化したと認識されていますか、お伺いします。

次に、ごみ排出量についてであります。

令和4年10月から実施された家庭ごみの一部、大型ごみ、持込みごみの有料化により、令和5年度にかけて一定の減量効果が見られておりますが、依然として全国平均と比べると多い状況にあります。現状の評価と今後の減量目標の達成に向けた具体的な取組についてお伺いします。

次に、循環型社会の実現に向けた取組についてであります。

民間企業との連携による大型ごみ、不燃ごみのリユース促進やいはま3Rネットワークを通じたごみ減量、資源化の推進が掲げられておりますが、これまでの成果と今後の展開をお伺いします。

1人当たりのごみ量は全国平均には及びませんが、一部有料化により減少しております。分別方法の見直しや全面的な有料化を含めたごみ処理手数料の在り方について、本市として、現時点でどのような方向性を持っているのか、お伺いします。

私も、女性連合の中の委員の一人として、新居浜市廃棄物減量等推進審議会に出席いたしました。その中で、収集体制について、現在も一部地域で戸別収集が行われているとお聞きしました。収集方法の違いは、市民間の負担の公平性の観点から問題があるのではと思います。今後、地域の実情を踏まえつつ、より公平で効率的な収集体制へ見直すお考えはあるのか、お伺いします。

次に、ごみ収集に従事する職員の高齢化や担い手不足についてであります。

年末年始や大型連休中の収集体制について市民の御理解をいただく必

要はありますが、業務環境の改善や働き方改革の観点から見直しを検討してはと思いますが、いかがですか。

次に、次期ごみ処理施設についてお聞きします。

令和14年度までの供用を目標とする新たなごみ処理施設については、昨年度、西条市との間で広域化、集約化に関する検討を継続する基本合意が締結され、両市による基本構想の策定に着手しており、引き続きごみ処理施設の具体的な整備について検討を進めると施政方針に盛り込まれておりましたが、西条市との両市連携による施設整備に関し、現時点で課題や懸念事項はないのか、また協議は順調に進んでいるのかについてお伺いします。

さらに、現在、検討が進められているごみ処理施設整備基本構想について、施設整備方針の策定、事業主体や組織体制の在り方、公民連携の検討、公設民営など、事業手法の検討はどのような視点、手順で進められているのか、お伺いします。

あわせて、余熱利用による発電や熱利用は考えられていますか。

また、業務委託に係る予算措置や委託先の選定方針についてもお示してください。

近藤司議員の質問にもお答えをいただいておりますが、西条市との供用開始にずれが生じる可能性については、既存施設の延命により無駄のない計画延長が行えるように取り組んでいくとの答弁がありました。具体的にどのような延命措置や費用対効果の検証を行うのか、お伺いします。

○議長（田窪秀道） 答弁を求めます。近藤市民環境部環境エネルギー局長。

○市民環境部環境エネルギー局長（近藤淳司）（登壇） 循環型社会の実現についてお答えいたします。

まず、新居浜市ごみ処理基本計画についてでございます。

当初計画策定時と比較した本市を取り巻く環境の変化といたしましては、人口減少、高齢化の進展、労働環境の変化に伴う作業員の確保及び労働環境の向上に向けた対応が必要となっていること、廃棄物処理関連では、モバイルバッテリーなどリチウムイオン電池に関連する火災防止対応等、新たな課題に直面しております。

また、循環型社会構築に向けた取組が全国で推進され、本市においても、当初計画策定後の令和5年3月に、にいはま食品ロス削減推進計画及びにいはまプラスチック資源循環戦略を策定したところです。

次に、現状の評価と減量目標達成に向けた具体的な取組といたしましては、組成調査の結果から、燃やすごみの中に資源ごみが約2割程度含まれており、分別が徹底されていないことがごみ量が多い大きな原因の一つであると考えております。ごみの減量目標達成には、分別の徹底を促進するとともに、ごみ有料化が有効な手段であると認識しております。

次に、循環型社会の実現に向けた取組についてでございます。

令和4年から、にいはま3Rネットワークの開始、また株式会社ありがとうサービス、株式会社マーケットエンタープライズとの協定によるリユース促進により、これまでにリユースされた商品が682点、清掃センターへ廃棄物として持ち込まれた

もの、回収ボックスからリユース商品として引き取られたものが約50トンと、少量ではございますが、継続してごみの減量につながっているものと考えております。

今後におきましても、積極的な広報により、市民の皆様の御利用や御登録いただける事業所のさらなる拡大を図ってまいります。

次に、分別方法の見直しや全面的な有料化を含めたごみ処理手数料の在り方についてでございます。

分別方法の見直しにつきましては、本年1月に、火災防止の観点からモバイルバッテリーを不燃ごみから有害ごみに変更いたしました。今後、安全性に配慮した分別区分の検討を進めてまいります。

また、導入自治体が増加しているごみ有料化につきましては、ごみの排出量に応じた費用負担、分別促進によるごみ減量の観点から、引き続き検討してまいります。

次に、一部地域での戸別収集問題の見直しについてでございます。

ごみ収集作業の安全と効率化を図る目的で、平成21年に新居浜市ごみステーションの設置及び管理に関する要綱を定めた際の経過措置として、要綱施行時に設置済みのごみステーションは、要綱の規定により設置されたごみステーションとみなすこととした経緯がございます。

しかしながら、約17年が経過した現在、ごみ収集を効率的に行うために、ごみステーションの再編について、地域の実情を踏まえつつ、自治会等地域の皆様と協議していく必要があると認識しております。

次に、高齢化や担い手不足、収集現場の業務環境の改善や働き方改革についてでございます。

収集員の人材確保、働き方改革については、収集事業者と定期的に協議を継続している課題となっており、年末年始や大型連休中の収集体制の見直しによる休日の在り方など、働きやすい環境の整備に向け、検討を続けてまいります。

次に、次期ごみ処理施設についてでございます。

まず、施設整備における懸念事項と西条市との協議状況についてでございますが、現時点の見通しにおいて懸念されていることといたしましては、建設資材の価格高騰による建設費用の上昇、建設作業員不足に伴う建設期間の延伸などが傾向として明らかとなっており、全体工程検討の中で見直しを行っているところでございます。

西条市との協議につきましては、基本構想の策定に向け、工程どおり順調に議論を進めているところでございます。

次に、基本構想策定における各事業手法の検討につきましては、まず安全かつ安定的にごみ処理ができる体制確保を前提に、災害対応も含めた持続可能な処理体制の確保や生活環境への配慮など、コストや効率のみを重視するのではなく、総合的な視点で検討を進めており、基本構想における各評価を取りまとめた上で市民の皆様への御説明を実施したいと考えております。

次に、余熱利用につきましては、施設の位置づけをエネルギー回収型施設とし、最新技術を用いた高効率の熱回収、発電による再生エネルギーを地域に還元できる取組を想定しております。

次に、委託業務の予算措置や委託先の選定方針につきましては、広域

化が決定する際に引き続き西条市との検討推進会議において方針を決定することを想定しております。

次に、既存施設の延命措置につきましては、新たに創設された国の交付金制度の活用を視野に入れ、設備機器の状態調査を継続的に実施し、複数の改修工法について比較検討を重ねることにより、費用対効果に留意した検討を行ってまいります。

○議長（田窪秀道） 伊藤優子議員。

○24番（伊藤優子）（登壇） 御答弁ありがとうございます。

戸別収集の再編については、市民の方に理解をしていただいて、早く解消していただきたいと思います。

また、有料化については、先日、テレビでもしておりましたが、有料化によってすごくごみが減ったという事実があるそうです。有料化に向けて、今から話し合いをしていただきたいと思います。